



研究者名※	西貝真紀 NISHIGAI Maki	学位※	修士(文学)
所属※	文学部 英文学科	職名※	助教
連絡先			
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/WgJbqV6QRD0eGshm		
研究分野※	人文学		
研究キーワード※	米文学		
共同研究・競争的資金等の研究課題			
社会貢献・産学官連携活動等			
受賞歴			

研究領域	(SDGs)
研究テーマ※	1950、60年代の米文学に見られる東洋思想
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 1950、60年代の米文学における東洋思想の影響を研究している。特に日本へ旅をした経験のあるGary Snyderらビート・ジェネレーション作家を中心に、彼らが傾倒した禅仏教思想がどのような解釈を経て作品に昇華され、また、そのような作品がなぜ冷戦期の米社会で一般に広く受容されたのか、その社会的背景について分析を進めている。禅仏教思想に則って質素な生活を送る作家の姿は、対共産主義の姿勢を強め、資本主義的なモノの豊かさを正とした米国においては反体制的であった。それにも関わらず彼らの作品が検閲を逃れた背景として、第二次大戦後アジアとの関係再構築を目指した米国政府の思惑があったことを明らかにしたい。</p> <p>【応用例、研究の展望】 第二次大戦後の米文学における日本の描かれ方を分析することで、米国における平和な国・日本というイメージがどのように構築されていったのか、その源泉の一部を明らかにすることができると考えている。また、禅仏教がどのように米国政府とビート作家という対立する二者間で共有・受容されていったのか、そしてどのように米国における戦後日本の無害性を担保する思想として機能していたのか、ビート作家の文学作品のみならず、実際に日本を訪れ、禅仏教を直に体験した米国人が執筆した旅行記などを含む一般雑誌記事の収集を通じて調査を進めていきたい。</p>
本研究関連特許・論文等	・ ・
共同研究・外部機関との連携への期待	・ ・